

**第 1 回 櫛引 地域 審議 会  
会 議 録 ( 概 要 )**

期 日：平成 1 8 年 2 月 2 2 日 ( 水 )

場 所：櫛引庁舎 3 階委員会室

## 第1回櫛引地域審議会会議録（概要）

日 時 平成18年2月22日（水）午後3時～

場 所 櫛引庁舎3階委員会室

### 出席委員（五十音順）

秋山弥里、遠藤敬一、大井欣哉、小林 隆、齋藤賢一、佐久間泰子  
佐々木はつ子、澤川宏一、菅原幸雄、鈴木和己、清和梅子、清和庄右工門  
楯村信一、長南源一、成田新一、畑山久恵、前田藤吉、松平久和、松田安男  
吉田吉郎（全員出席）

### 市出席者

市長 富塚陽一

櫛引庁舎 支所長 小林良市、次長 後藤重好、企画課長 渋谷俊美  
主査 齋藤ゆう子、係長 佐藤 浩、主事 松浦 愛

本 所 総務部長 佐藤智志、政策調整室長 石澤義久、調整課長 石塚治人  
政策調査課長 柴田昌明、主査 宮崎清男

### 次 第

1. 開 会
2. 市長あいさつ
3. 委員紹介
4. 会長・副会長の選出
5. 合併後の状況について
6. 説 明
  - (1) 地域審議会の概要について
  - (2) 新市建設計画の概要について
7. 協 議
  - (1) 今後の運営について
  - (2) その他
8. そ の 他
9. 閉 会

## 【 会議の概要 】

15：00 開始

（市長が公務で遅れることになったため変則的であるが次第順序を一部変更した）

5．合併後の状況について（小林良市支所長説明）

15：15 市長到着

（辞令交付）

1．開 会（小林良市支所長）

2．市長あいさつ

3．委員紹介

4．会長・副会長の選出（会長 遠藤敬一、副会長 畑山久恵）

6．説 明

（1）地域審議会の概要について（渋谷俊美企画課長説明）

（2）新市建設計画の概要について（渋谷俊美企画課長説明）

遠藤敬一会長 ありがとうございます。これについて、皆さんから質問あるようでしたらお願いします。

無い様でございましたら新市計画書は後で読んでいただいて、次の議題に入りたいと思います。

7．協 議

（1）今後の運営について

遠藤敬一会長 次に7番目の協議に入ります。今後の地域審議会の運営についての件でお願いします。ご意見のある方はよろしくお願いします。

富塚陽一市長 この建設計画については、只今ご諮問申し上げる時点には無く、まだ新しいものですから、今後検討していただいて、なお事務方も色々検討して、ここをこうした方がいいのではないか、ということが明確になった時にご諮問申し上げますのでその時にはお願いします。今時点で、諮問申し上げるまでに至りませんのでご了承いただきたいと思います。よろしく願いいたします。

遠藤敬一会長 ありがとうございます。委員の方からもお願いします。

小林 隆委員 せっかくの機会ですので、何か一言質問させていただきたく思います。ページ49の公共施設の適正配置と整備の関係で、短い文でまとめられておるようですが、なかなか合併ということは、それぞれの旧市町村単位で、それぞれ今まで経過があって整備が進んでいるところ、進んでいないところ、また行政の指導等、公共施設、最終的には民間管理ということで、完全に住民が管理するような形になって

いくと思われませんが、ややもすると、そういうことが進むと、そういう施設が結局維持できなくなるようなことが懸念されます。特に当櫛引管内の場合、行政支援の中で、色んな施設が元気に活動している状態が、合併したことによってそういった方向にならないような気配りを是非していただきたいということでお願い申し上げます、意見を申し上げます。

遠藤敬一会長 企画課長の説明は必要ですか。

小林 隆委員 いいえ。

遠藤敬一会長 分かりました。他に。

長南源一委員 せっかくお忙しい中、市長さんからおいでいただいたわけですので、3点について、直接建設計画に関わりないこともあるかもしれませんが、少し話を伺いたいと思います。

一つは、合併協議会の折りも、その後の懇談会の折りも農林水産業に力を入れたいという話をされておりました。この地域も農業が大変盛んな地域でありますし、大変力強くありがたいことだと思っております。この計画の中にも、農業振興について色々あるわけですが、予算もだいたい編成が終わったようでありまして、予算と関連付けながら単年度でやることもあるでしょうし、あるいは複数年度に渡ることもあるかもしれませんが、現在考えておられる振興策について、もしありましたらお話を伺いたいと思います。これが第一点です。

それから二つ目は、旧櫛引町は山添村、黒川村が合併し、櫛引村、櫛引町となった経過があるわけでありまして、中学校、いわゆる山添、黒川という感情の対立と言いますか、わだかまりがずいぶんありました。これは中学校だけでなく、大人の間にもあったと言われておりますし、大変嫌な思い出として今でも残っております。現在は、経済や社会状況がまったく違いますから、そういう状況が無いのかもしれませんが、合併に反対だという立場の方もおられたわけですし、新しい新市の一体感を作るために何か考えていることがありましたら、その点について伺いたいと思います。

三点目は、この櫛引庁舎の三階のこのフロアですが、従前、議会関係のフロアでございました。これは前も話題になったわけでございますけれども、この様に会議に使うこともできるわけですが、議場もありますし、その他事務室もいっぱいあるわけで、この庁舎、比較的新しいわけですから、町民の中にはもったいない、という感じを抱いている方が多くあるようです。その有益な活用について、今後どうするのか、地域対応でやっていくのか、新市全体のバランスと言いますか、その中で考えていくのか、今分かる範囲で伺うことができればと思います。

富塚陽一市長 座ったままで恐縮ですが、まず農林水産業について、確かに来年度予算で少し今までとは力の入れ方を変えて頑張ろうかなと思っております。しかし、とにかく、今日の建設計画を見てもお分かりのとおり、きれいな文章ばかり並んでいます。ところが、どこまで実態が分かって書いているのかよく分からない部分も

あるのです。それで、今、世の中変わったかもしれませんが、よく実態を極める必要があるのではないかという感じがいたします。それは中長期の観点も含めてです。ですから農林水産業行政の進め方としましては、これから実態調査してといっても、しかし実際は来年度も農家の方は仕事をしているわけですから、農林水産省や県の仕事もどんどん来ているわけで、それはそれでテキパキと有効に仕事をしなければならぬわけです。それはそれで進める。現実には差し迫っていることをちゃんとやると同時に、少し国に対して物を言えるような材料を整えたいのです。農業にしても林業にしても水産業にしても、どうもなんだかWTOにばかり付き合っただけで駄目だな、なんて感じもしないではない時に、農林省これ少しおかしいのではないかと、こちらに何とかしてくれないか、ということ言えるようにしたい。今までの国の農政は、庄内の調査をしてからやったものですが、この頃の農林省の若い職員はここに来ない。どこで勉強して農政の企画しているのかよく分からないけれども、東大の法学部が頭で考えているような気がするので、努めてここに来て調査をさせて、この現状認識をさせたいのです。当面の施策と制度で、おかしいことははっきり具体的に言わないと、農林省にここがおかしい、と言っても間違いと思われる。具体的なデータを持って行かないと説得力がありませんので、その辺を整えようかと。両面作戦でこれから行かなければならないと思います。林地も森林も増えるものだから、旧鶴岡市と比べると林地面積が10倍に増えるそうなのです。全部は難しいのですが、林野庁も元気がないようなので、林野庁に元気出して頑張れというような時も、具体的なデータを持ってやった方がいいのではないかと思いますので、その様なことでやっていきます。当面やっていくことは小林くん、あなたたち揃っているか。何も聞いていないか。予算書を持ってこないとよく分からないけれども、後で市の予算書をご覧に入れますので、大抵きめの細かい施策は現状でやっているつもりです。持ってくれば良かったですね。具体的なことは、お送りしますのでお許しをいただきますように。

それから一体感というお話がありましたが、どういうことから、この一体感ということは気を付けなければならないことですが、来年度予算として配慮しましたことは、特に住民生活に関わりのある色々なやり方については変えません。なるだけ変えないようにしました。例えば、待遇の仕方が町村で違うのです。こっちの方が安いからこっちに合わせて、とも言えないものだから、トータルで支所に渡すことにしまして、その中で穏やかに決めて欲しい。去年と同じ額を配分するということにしました。平らに広げると、あっちにこの様なことがあって、こっちには無い、おかしいということになるので、来年1年かけて、それも公にして、どっちがいいのかの相談をしながら、穏やかに納得できるような線にいけるように丁寧にいこうかと思っています。非常に生活に関わるものだから。国の決めたことはどうにもならないのです。国保とかそういうものは、ここで意気負ってみても駄目なので、国で決めたものは国で決めたもので、合併する、しないに関わらずしなければ

ならないことはどうにもならないことです。

もう一つ、今までご当地では、黒川能という素晴らしい伝統文化から、農業では多様な作物を作っていたということから素晴らしいわけですが、旧市町村地域で、これから、もう一つこの様なテーマで頑張ろう、ということを探して欲しいという予算付けをしました。企画の担当の人達を中心にして、まず少し、目新しくてびっくりするようなことをしなさい、というのではありませんけれども、こういうこともしたかった、しないでいた、ということがあればそれでいいし、今までやってきたことをもう少し工面して、もっと効果が大きいように仕組みや仕掛けを変えるというようなことでもいいし、何でもいいわけありますので、この地区の人達の知恵を出して、何か将来に向けて良かったと言われるような企画を出してもらえるような予算を作りました。そうしたことで、下を向いて調整課題を探すと、頭痛くて寝られなくなるほどでありますけれども、そのことはだんだん時間を掛けてやらなければならないと思いますので、そっちに気を取られていると何のために合併したか、将来に向けて進むということが全然なくて、ただ下を向いて、おかし、おかしと言ってばかりいては何のために合併したか分からなくなるので、そこは気をつけていかなければならないと思いました。なるべく穏やかに調整しながら、将来に向けて、これであればいいかな、ということを探し出してもらえるように主体的に一生懸命頑張ってください、という様なことを少し配慮いたしましたのでご了承をお願いします。とりわけ農林水産業については、農業もそうだし、林業も頑張っていかなければならないかなと思っておりますし、それぞれ今までに無い配慮をしたつもりでありますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

地域庁舎の利用については、総体的に人事の交流はしなければならないと思ひているのです。組織も少しいじらなければならないし、ただ、間もなく辞めるような人達には本所に行け、とは可哀想で、しないことにしても、若くて元気のいい職員は、来てもらって勉強してもらってもいいと思ひておりますし、そういう交流はしたいと思ひているのですが、慨して言えば本庁に若い人を取る数が多くなるのではないかという気がします。ここに集中するわけではなくて、勉強に来る機会が増えるのではないかな、という気がしています。鶴岡庁舎も溢れる様になってきたので、合併したからといって庁舎を建てることは馬鹿くさいし、お金ももったいないので、そうしたら他の庁舎は別にしても、ここの庁舎は素晴らしいので、ここを本庁の分庁舎に使わせてもらえるといいのではないかと思ひております。今、検討させています。できれば、独立の委員会なども考へて、ここに本庁、本籍を移して、ここを本部にしてやってもらうこともいいのではないかなと思ひたりしていますので、まずこれは詰めた話をしていませんので、この程度、曖昧だと思ひますけど、今の庁舎も講堂を潰したりなどしていたらなんなので、今の市役所の溢れた所を、悪いものを溢れさせたりしませんので(笑) 余計なものを出すということではありませぬので、ちゃんとしたものをここでしっかり仕事してもらうという体制で使わせても

らえればいいかなと思っていました。その時点でまたご相談したいと思っていますのでよろしく願います。答弁長くなりましたけれども、だいたいこの辺でよろしく願います。

遠藤敬一会長 前向きなご答弁をいただきありがとうございました。他に。

清和庄右工門委員 これまでの話と重なる部分がありますけれども、一つお願いでございませう。合併して何ヶ月か過ぎたわけですが、全国でも10番、東北では2番目という広大な地域の鶴岡市になったわけですが、先ほど市長さんがおっしゃられたように力のあるまちづくり、そういうことを強調されております。私もそれを願っております。そのとおりであると思っておりますけれども、もう一つ感想、付け加えるようなことですが、櫛引、羽黒、朝日、温海と、それぞれの旧町村があったわけですが、その中で色々の産業、特殊性のあるものが育っているわけですが、特に、櫛引の場合は、果樹とか、また文化面では丸岡城址とか、それから黒川能というものが育っている。そういう育っているものが、新しい感覚で発展したのではなくして、長い長い年月の間に入道的なもの、文化的なもの、また人情、それからそれぞれ人の支え合いのもとに育っているわけですが、羽黒でもそうでしょうし、藤島でも、温海でもそうしたものがございませう。それらを一緒いっばからげにしないで、やはり土地土地の地域の特殊性のあるものをこれからずっと生かしていく施策は是非続けていくことが重要なことだと思いますが、その辺のことも強調されている部分もあるようではございますけれども、是非ともそれを地域の住民の伝統的なものを続けていただきたいと思っております。

富塚陽一市長 まったく仰せのとおりで、その配慮はするように徹底させているつもりでありますので、どうぞよろしく願ひ申し上げたいと思っております。特に、現実の問題としては、これを長く持ち続けていくという時の対策がそう簡単なことではないということがありそうなので、地元の立場におかれましても、例えば、支えようと思ってもする人がいないとなりかねない時代でありますから、その辺はひとつ十分に色々と支所でも頑張ってください。決して、今まで伝統的に築かれたものは留まる事は無くということは何度も申し上げておりますので、その様なことでもよろしく願ひ申し上げます。

先ほど施設について、偏らないようにというお話がありまして、施設計画はこの建設計画の中に書いてありますので、ご覧いただければと思っております。それをみんなでご相談して、建設計画を作って、それを合併特例債でやりましょうということになっています。中味を見てください。おかしいと思っただけ、それぞれの地域に必要な施設は配慮しているはずですので、なおご検討いただければと思っております。念のために申し上げます。

遠藤敬一会長 鈴木さん。

鈴木和巳委員 私、民生児童委員協議会の代表として来ておりますので、そのことについて少し伺いたいと思っております。今までは、櫛引町役場から交付金を頂いており

ましたが、今度、鶴岡市になるので交付金がどの位いただけるのか、それによって仕事の内容も勉強も、研修の内容も違ってくるのでその辺が心配でいます。私たちの常日頃の仕事は、生活面で容易でない方とか、要援護者の方々を支援するために様々自分たちも研修して勉強しているつもりです。例えば、仕事一つ、やっていることを言えば、広報「ぐんぐん」を作って全戸配布をしています。それから友愛訪問といって、要援護者にお茶菓子を持って、遊びに行つて様々悩み事を聞いたりしていくのが二点目。それからもう一つは、施設に入所している方々に年賀状、お元気ですか、ということをやっています。あと、上げれば様々ありますけれども、それには相当の会費が必要ですので、18年度はいかがになるでしょうか。私たち民生児童委員会は23名です。だから1万円から1万5千円ほど会費を集めないと、会の運営をやっていけないかという風にも考えています。様々どこにお金を使うかという、負担金も馬鹿にならないのです。国、県、あと今年から鶴岡市と連合会になったものですから、櫛引地区の民協から15万円位はお金を出さなくてはならないのです。だから鶴岡市からいただける交付金がどの位になるか全然未知数ですから、3月の中旬には来年の予算を組んでしまわないと遅れるので、その辺が定かでないものですからどうすればいいかと心配しているところです。

もう一つは、ここの会場をどういう風にして使ったらということがありましたが、私たちも合併してから、10月から合併して会議は毎月あります。鶴岡市に集まっています。その鶴岡市の会場というのが大変なのです。1月は東庁舎で、2月は青年センターに行けとか、3月は旧病院に来いとか、そして一番困ったのは2月の理事会で、鶴岡は14民協あって、我々旧町村が5つあります。19の会長が集まったの理事会です。そうすると旧病院跡に行ったのです。寒くて寒くて風邪を引いてしまいました。会場が月々で違うのです。その辺はまったく困ったものだと思っていますし、その辺何とかいい工面ありましたらお願いいたします。

富塚陽一市長 ただただお詫び申し上げるしかありませんので、大変申し訳なく思います。それで、来年度予算のことは、詳しいことは私もよく分かりませんが、でも大きな激変は無いはずだと思いますので、ただ全般的に、消費的、一般事務費をみんなどこでもここでも平らに3%削減するという措置を講じることもあります。そういうこともあれば、何だから狙い打ちするということではなく、全体として、例えば、今年、各課の要求と歳入を比べたら30億違うということで、30億どこでどうすればいいか1回こんがらがったことがあるのです。でも穏やかに色々、それこそ行政顧問の人とも相談させていただいたりして、少しずつ削ったりして、何とか辻褄を合わせているということですが、今おっしゃるような予算の中味については、私ちょっとわからないけれども、聞いてくれないか、後藤くん。福祉だと山北くんのところでないか。あまり激しいことはやるなよ、と言ってあるので、よくよくおかしい時は、一応お聞きして穏やかな方法で無い時は、可能なかぎり是正させますのでよく調べて。3月にならないと分からないかな。あるいは、どうだか分か



らないけれども、細かいことになると私も全然分からなくて申し訳ないです。

それから会場につきましては、先ほど申し上げたとおり、確かに合併をすることによって一つ約束をしているのです。講堂など、一刻も早く空けなくてはならないと思っておりますし、それから会長さんからも少し待ってもらわなければならないかもしれませんが、次の段階で、病院のそばに総合保健福祉センターを建てる予定でいるのです。合併特例債を使ってしなければならないと思っています。施設整備としては、一番最初だと思っています。その所に建てば、よほど管理室はできると思うので、まずあの病院のそばに何とかと思っていますので、休日診療所とか、保健課とか、福祉の施設とかを造ろうと思っていますので、まずひたすら頭を下げるしかない。申し訳ないです。ほんとに。ここももし、詰めたところで本所の分庁舎に使わせてもらえば、本庁舎の6階の講堂などが空くわけなので。何にしても空くようになると思いますので。本庁舎のスペースは、来年度中、今年中に何とかしますので、それで我慢して待っていただくことをお願いしたいと思います。申し訳ないけれども。お詫び申し上げます。どうかすみませんがよろしく願います。重要なお話を頂きまして本当にありがとうございました。

遠藤敬一会長 他にありませんか。

前田藤吉委員 色々な方からご意見があったようですが、私からも一つだけ、コミュニティの再構築ということがあるわけですが、櫛引町では22の集落があって、どこにもコミュニティセンター又は公民館があるということで、それを拠点にして少子高齢化の時代で、これからどんどんと増えていくことから、いつもそういうところで遊んだり、物を作ったり、踊ったり、歌ったりということで、趣味を持ちながら健康で長生きをしているということが、私は櫛引が最高ではないかと思っています。なので、これからもそういうものが、合併したから学区単位でコミュニティセンターを造りますということも聞いたことがありますけれども、そういうことは、まだはっきりとはしてはいないと思いますが、そういう風に、やはり歩いて、車に乗って出かけると言うことはなかなか大変な世代もあるわけですので、そういう方々いっぱいあるわけですので、そういう風に、近いところにみんなが寄り合って、コミュニティで触れ合いながら、趣味を持って健康で長生きをするということが一番いいことだと思っていますので、そういうこともあまり統一したりはしないようにして、できれば身近に集まって楽しむと言うことも櫛引ではやっていますので、それもこれからの運営の中で違ってしまうと、合併して面白くないということになるので、その辺もよろしく願います。

富塚陽一市長 前田委員さんのお話、私も賛成で、みんな画一的にするなんてことは毛頭するべきではないと思います。そうであれば何するというこれはこれから検討していくことになりますが、私の詰めた考え方から言いますと、とにかく格好なくて、みんなが一番いいことはどういうこと、ということで動き出す運動を地域の中で始めていただければいいと。俺は関係ない、という人でなくて、俺たちのこ

の地域で色々悩みもあるし、年寄りの人もいるし、様々いるけれども、地域でどうすればいいかということをおみんなで考えて動き出すことが始まったら私は成功だろうと思います。仮に絵を描いても何十年も経つとまた構成が変わりますので、人口構成も変わるし、そしてやはり上から言われてしなければならないではなくて、やると面白いとか、やった甲斐があって喜ばれて良かったとか、そういうような気持ちがあって始まったらコミュニティ活動の再構築ではないかと思います。修身の教科書みたいに立派なことをしなさい、といってもなかなか長く、若い人がこれにつながってこないのでは困る気がするのです。地域の運動として、みなさんも若い人も面白いというようになるのはどうすればいいか、と工面していただくといいと思います。

覚えている振りをしてしゃべると、今朝と夕べのNHK深夜便「心の時代」で、堀米先生が青年、高校生と一緒にのボランティア活動の話をしていました。山添高校の教頭をした先生です。和尚さんです。坊主頭の面白い先生です。私も長いこと、何十年も付き合っているが高校生を喜ばせて、喜ばせて本当に心からのボランティア活動を地域でさせているという話をしていました。あれなら様々、今度呼んで来て、小林さん呼んで来てくださいよ。ここであれば来ると思います。ここの教頭をしたことがあるのだから。私は昔から付き合っているのだから、頼めばすぐにハイと来るので、その様なことも述べて。本当に子どもたちが喜んで、学校の先生からも睨まれたこともあったようですが、学校の授業はさっさとやめて、地元に行ってボランティア活動したくているものですから、進学だけ考えている先生からすれば、何だあれは、となったかもしれないが、これが30年経過して文部省から地域ボランティア活動の事例の3つか4つの全国の有名事例の一つに取り上げてもらったそうです。それで、NHKで堀米先生の話を取り上げたようです。今朝、眠くてしょうがないけれども、昨日から今朝にかけて聞きましたけれども、私の家のテープが壊れて録画ができなかったので、NHKからもらってください。みなさんの希望があれば、聴いてもらえればいいと思います。とても話が弾んで面白かった。小林くんのところで何かしてやればいいのかも。覚えているの、ここの教頭をしていたということは、何人かの方は覚えているようなので、とても面白い人なので参考までに、余計なこと言いました。すみません。まあ頑張りますのでよろしくお願いします。ありがとうございました。

遠藤敬一会長 他にありましたら。

秋山弥里委員 この新市建設計画の12ページに人口の減少というのがあるわけですが、テレビでも毎日亡くなった人、生まれた人というのがテレビに出ているわけですが、最近は毎日亡くなった人がいっぱい、生まれてくる人は本当に不足だというのが現状ですが、やはり櫛引の方は、今までも人口が微増であったということと、あんまり減少しないということが私は自負できることであります。このことを合併してからも継続するというか、続けていくとすれば、

やはり住宅団地などの造成などはもっと、今民間でやっているわけですが、今以上に力を入れて人口を減らさないということが、合併をして櫛引も活力があるんだ、というそういう地域にする必要が私はあると思いますので、そうしますと今までであれば鶴岡市と櫛引町ということで、土地の値段も鶴岡市の場合は倍くらいということでお互いにいい面で競争なのか、そんなことでやってきたわけですが、しかしながら合併をするので、ただ争っているようなものでもないと思うので、その辺のところも私は行政の方も少し今までとは違う形で指導してもらえたら、もっと人口の減少をいくらかでも率を減らさないような方向でいくことが、この櫛引地区の活性化ではないかと思いますが、その辺を一つお伺いします。

富塚陽一市長 大変難しいご質問ですが、我々今、建設計画含めて来年度予算で考えていますのは、これが即、櫛引地区の人口増ということを確認しているわけではありませんが、全般的に仰せのとおり少子高齢化でどんどん人が減ります。これから止むを得ず。それをどうやって食い止めるか。全体として若者をどれだけ流入し、定着させるようにするか、ということはマクロ的で、横文字を使って悪いけれども、定着しようと思うけれども市全体でとにかく重点的に、変な言葉使いますけれども、とにかく先導的に、主導的にプロジェクトを進めなければならないと思います。工場誘致とか、それから慶応の研究所なんかも、これからものにできると思いますので、何とか今ようやく企業化できるようなレベルまで来たようですので、これを企業の発展につなげるように更に助長していくとか、全体としての若者の定着拡充を図るということは、仰せのとおり精一杯頑張らなければならない。幸いにして、鶴岡全体からいいますと農学部があったり、鶴岡高専があったりして若者は他より余計なのです。割合からすれば。ただ卒業すると出て行くものですから増えはしないのですが、比率からすれば結構いるのです。それを増やすのはどうしていくのかということは考えて行かなければならない。あと、定着させるという方法については色々工面しなければならないことです。何もかにも私は冒頭から申し上げているように鶴岡に集中させる気は毛頭ありません。そのようなことはしない。今、ご承知のとおり、12年度と17年度の国勢調査で朝日と温海の減り方は大変な激減だと思います。それも黙ってはられないと思うので、林野もそういうことで、少しばかりでは救われないかもしれないが、何とか頑張らなくてはならない。秋山先生のご趣旨は分かりますので、それでもどうなっているか、櫛引だけに集中するというわけにはとてもいけないので、そこは一つ、全体としていい所であれば住むようになるものですので、いい所だの、という環境づくりを是非、小林くん頑張ってやってください。ここはいいよ。やっぱり直接いいと思わなければ。

もう一つ話しが違うけれども、若い女性もいるので、来年度予算ではいい子どもを育てるために教育委員会で頑張るというので予算を沢山つけました。今まで無いのです。そういうことは。まずいい子を育てるのには、あそこに行って子ども産めば良く育つ、と段々なればやはり来る人も多くなる。そういうこともあって、女性

の方に早く沢山産んでくれ、と言っても、そんなことを言ってもどうにもならないので、全体としてここはいい所だ、ということになることが一番だと思います。間接的かもしれませんがこの所だと思います。そういうことなので寄ってくるように頑張りますので、ご指導いただければ大変幸せです。鶴岡は地価が高いからいいかもしれません（笑）。むしろ私たちの近所の方が10年も経つと誰もいなくなるかもしれません。上畑町。ハカハカとなるけれども（笑）。まず頑張りますのでよろしくをお願いします。

遠藤敬一会長 まだまだお話も…。

佐々木はつ子委員 合併して4ヶ月経ちました。私は早く合併して欲しいな、と思っていた一人なのですけれども、いざ合併してみますとやっぱり寂しいな、ということが本当に実感でした。というのは役場も遠くなりましたし、自分の気持ちから遠くなりましたし、勤めも鶴岡なのでほとんど地域とのコミュニケーション、世代からそうなんでしょうけれども、あまり取れない状況で、地域の婦人会には入っていますけれどもそういう風な感じです。さっき前田さんの意見に付け加えたかったのは、私たちみたいに子育てを終えた年代の人は結構、力をもてあましている人もいると思うのです。ただ、農家とか家の仕事ある人は別なのですけれども、よく友達なんかと話をしていると、こういうことならば出来るんだけれども、という話をよくしているのですけれども、ただ、どこかに行って何時でこれをしなければならぬということ、それは必ず行けない、ということがあるから、やはり1人一役でも自分ができることを出してもらって、それをまとめてくれる場所があったら、この時間に、この時、こういう手を必要なのですよ、という時に、その位の力だったらほとんどの人が出せるのだと思うのです。そういうまとめ役、まとめる場所みたいな所があったら、その人も生きがいになるだろうし、地域のコミュニケーションも取れるでしょうし、特にこの冬はそういうことを感じました。孤立している地区みたいな感じに思ったのでそういう場所、それからあと子育てしている人などから聞きますと、休みの時どこかに連れて行こうと思うと、必ず大型店とかそういう所しか場所があまり無いと、できればそういう地域のおじいちゃんおばあちゃんと溜まり場みたいなそういう場所があればいいな、と聞こえてくるので、何かそういうのもさっきの老人クラブのこととも結びつくこともあるので、コーディネートしてもらえればいいかなと思いました。

富塚陽一市長 その先どうか、色々アイデアを具体的に、どうすればいいかということをしていただくと。例えば、役所で全部を仕切るとするのはとても無理だと思いますので、どなたかそれこそプロモーターになっていただくと。大変いいお話だと思いますから、さっき言った堀米さんの話も縛りは何も無いのです。自由にのびのびと自分の好きなことをしていると全体に俺も負けていない、面白い、といって話が広がっていくという、そういう運動体になっていただきたいと思います。何卒よろしく。使ってください、役所を。どうぞ色々アイデアを出してもらって、こ

うした方がいいけどどうですか、と言ってもらえれば、頭がよくて一生懸命な職員が沢山いるので、どうかよろしくをお願いします。

畑山久恵委員 先ほど、市長さんとの懇談会、学区とする予定とかということをお先ほど聞きましたけれども、詳しくはどのような形を考えているのでしょうか。

渋谷俊美企画課長 その事につきましては今、事務局段階で、現在の考え方としては学区、市街地の方は既に今までも学区で、市長と語る会ということに関しましては取り扱われておりますし、櫛引地区では現在小学校区、3学区ありますので、そのことを基本にいたしまして、現在、区長会とも先日相談いたしまして、できれば3学区とも18年度に開催したいという、この前、区長さんからそういうご意見があったところでございます。それを今、本所の事務局の方に上げているところでございます。

畑山久恵委員 例えばですけれども、やはり大きな所での懇談会となりますとなかなか女性の声というのは届かないし、話もできないと思うので、できれば例えば、女性団体の研修会の中で市長さんとの語る会ということで場所を設けていただいて、ということはどうでしょうか。例えばですけれども。そうすれば、私は女性の代表としてここに参加しているのだと思いますけれども、男性の方々はいくらかでも声を出す機会があると思うのですけれども、なかなか女性の皆さんが市長さんの話を聞いたりすることがないと思いますので、もしできるものであればそういう点も少しは隅の方にでも置いていただければありがたいと思っております。

渋谷俊美企画課長 今ご意見ございました。直接市長から生の声を聞いていただいておりますが、ただ先ほど市長と語る会につきましても、やはりこの鶴岡市全域でやるとなると今の計画では、いわゆる市議会もでございますし、色んな市長の日程もでございますので、それを除いたところでの日程で調整すると、やっぱり2年に1回位という、今の市長と語る会もそういう計画で進めております。そんなこともありまして、今婦人会長さんからもご質問がございましたので、それらも合わせながら市長の日程なども入れながら事務局とその希望についてご相談申し上げたいと思っております。

遠藤敬一会長 時間も迫ってきておりますので、まだまだ皆さんには、ご意見があるうかと思っておりますけれども、只今皆さんから出していただいた意見を参考にして今後の運営に役立てていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

また、今後の審議会につきましては、後ほど、事務局の方で日程を決めて皆さんにご連絡すると思っておりますのでよろしくお願いいたします。

## (2) その他

遠藤敬一会長 次にその他の件について皆さんから何かあれば。

渋谷俊美企画課長 只今、今後の審議会について会長からお話がありましたが、地域審議会は新市建設計画の執行状況及び今後の予定等についてご報告し、委員の

方々からご意見を伺うという形で、概ね年度当初の開催が考えられます。それ以降の審議会開催の必要性については、地域課題等について、委員の方々から協議、意見交換をいただく必要もあると思われまますので、審議会の回数が数回になる場合もあると考えております。

次回の地域審議会については、18年度事業がスタートした頃に会長と相談をして開催させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

遠藤敬一会長 他にありますか。無いようですのでこれで協議を終了いたします。ありがとうございました。

8. その他

9. 閉 会（小林良市支所長 午後4時50分）